

このニュースを地域民報への転載や各支部への配布など、積極的に活用してください。

さっぽろ
市議団ニュース

<第3回定例会>

2016年10月12日

No. 160

日本共産党札幌市議団 事務局
tel 211-3221 / fax 218-5124

橋りょう・生活道路の補修いそげ！——予算増額を

太田秀子議員が質問

日本共産党の太田秀子議員は7日、決算特別委員会で橋りょうや道路などの維持管理について質問しました。

太田議員は、「道路や上下水道など、社会インフラの多くが耐用年数を超えている」として、本市の橋りょう長寿命化計画（2010～2019）で補修が急がれている450の橋りょう、幹線道路等舗装補修計画にもとづく道路補修の進ちょく状況と今後の見通しについてたどしました。

渡辺維持担当部長は、「450の橋りょうのうち今年度までに126の補修が完了し、残り324の橋りょうについては鋭意検討していきたい」とのべ、道路については「年9億円の予算で年間15～20kmの舗装補修を実施している」とのべました。

太田議員は、7割以上に当る324もの橋りょう補修が残されると指摘、「国は2014年に5年間で全ての橋を点検するよう義務化したたが補助は4割、国に増額を求めるべき」とのべ、道路の舗装補修について「1998年に約21億円だった予算が2008年には約3億円に減っている、年間9億円では生活道路の補修に50年以上かかる」と増額を求めました。

また、太田議員は、本市に10カ所あるアンダーパスについて、「水位計が設置され、雨水10cmで『冠水注意』、20cmで『冠水・通行止め』が表示されるなど雨水対策がとられているが、万全とはいえない」と指摘。「信号待ちによる渋滞も発生しており、ハイブリッド車は冠水すると感電すると国交省が注意喚起している」とも紹介し、「かつて経験したことのない集中豪雨が発生しており、現に死亡事故も起きている。とりわけ都心部では地下に道路をつくることは慎重であるべき」と求めました。

“国民監視、個人情報漏えい、巨額の税金つき込み” ——マイナンバー制度の問題ただす

小形かおり議員が質問

日本共産党の小形かおり議員は7日決算特別委員会で、2015年10月から導入されたマイナンバー制度に伴う費用について質問しました。

小形議員は、「マイナンバー制度が国家による国民の監視、個人情報の漏えいの危険などがあり反対してきた」とのべたうえで、その費用について「システム改修やシステム障害への対応、カード交付の窓口業務など現在までいくら使われてきたのか」とたどしました。

小角財政部長は、「システム改修経費として平成26年度2.6億円、平成27年度10.3億円でカード交付の事務費などで平成27年度5.9億円を要しており、国から全額交付されている」と答えました。

小形議員は、「これまでに約18億円が使われ、今年度の予算を加えると30億円を費やすことになる。すべて国から交付されているというが、本市の持ち出しがないとはいえない」「これから先どれくらいの期間、どれくらいの費用がかかる見通しか」とたどすと、小角部長は「他の公共団体とのデータ連携の改修は平成29年度で完了するが、その後のシステム運用やカード交付に費用がかかり今の時点で総額を見積もることは難しい」とのべました。

小形議員は、「いくらかかるかわからないということだ」と指摘、「国からの財源保証もあやふやで個人情報の漏えいも防ぎようがない。このような制度は途中であってもやめることを考えるべきだ」と求めました。